

## <国際金融パネル>

### SWIFT global payments innovation (gpi) ~SWIFT の国際送金における革新的取組みと世界の動きについて

三菱 UFJ 銀行 中武 浩史

#### <報告要旨>

現在、国際送金を行う際に、資金移動に関わる銀行間の送金指図は、「SWIFT」のネットワークを通じて標準化されたメッセージ体系によって行われている。SWIFT のネットワークには、世界 200 カ国以上の 11,000 以上の金融機関が加盟しており、世界のほぼすべての銀行に対して送金を行うことが可能となっている。SWIFT はベルギーに本拠を有する、金融機関を中心とした株主により運営される中立的でグローバルな協同組合組織である。

ブロックチェーンやビットコインなどのような技術革新が話題になる中、従来の国際送金については、遅い、今どこで処理されているのか送金の過程が見えない、手数料が高いと言ったユーザーの不満の声があった。その声に応える形で、SWIFT では 2017 年 1 月から国際送金の新しいサービスである「SWIFT global payments innovation(gpi)」を開始している。SWIFT gpi は、①国際送金の即日着金、②手数料の透明化、③送金処理の追跡可能性などを実現するものである。このサービスは、リリース後わずか 1 年ほどの期間で、各国の金融機関において急速に導入が進んでおり、利用顧客からも高い評価を受けている。

本報告においては、当サービスに検討開始から関わった当事者として、SWIFT gpi 構想の背景、革新的な仕組みとその実績について説明する。また、ブロックチェーンなど新たな技術を取り込んだ更なるサービスの向上計画についても紹介したい。